

初めて訪れたはずなのに、
なぜか帰ってきた気がする。

水鏡市

水面に映る景色のように、
過去と現在が重なる街。

雨の日も
わりと好き

懐かしいのに、知らない!? 水鏡市

初めて訪れたはずなのに、なぜか帰ってきた気がするそんな町です。

瑞雲寺の大屋根を見上げる午後。
旧東雲銀行本館の階段に差し込む光。
水鏡提灯祭の灯りが
雨の路面に揺れる夜。
植物園の温室で過ごす
静かな昼下がり。

この街には、
誰かの思い出のような景色があります。
有名な観光地はないのかもしれませんが。
けれど急がずに歩いていると、
忘れていた季節や匂いに
出会えることがあります。

階段だけでも
見てほしい!



【旧東雲銀行本館】

階段を上る者だけが、天井の高いホールに響く。
地域財界の迎賓施設として建設され、
現在は一般公開されている。

夜は
少し特別



【水鏡提灯祭】

毎年10月最終土曜日開催。
約2,000個の提灯が街を照らす、
水鏡市最大の秋祭り。

【水鏡植物園】

明治期の植物研究所をルーツに持つ温室群。
ガラス越しの光は、
季節より少しだけゆっくり流れる。

静かに
休めます



勝手案内人より

特別なものはないけれど、
とした瞬間に心が動く町水鏡市。
よろしければぜひお越しください。
マナーを守って静かな時間を
一緒に楽しんでいただけると
ありがたいです。